

1. 北海道総合開発計画の推進

参考資料

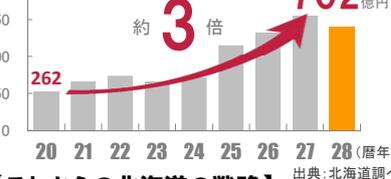
- 8期目となる北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)では、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付け、食と観光を担う「生産空間」を支え、「世界の北海道」を目指すのが計画のポイント。
- 社会や時代の要請を踏まえながら、「世界水準の観光地の形成」「食料供給基地としての持続的発展」等に重点的に取り組む。

計画のポイント

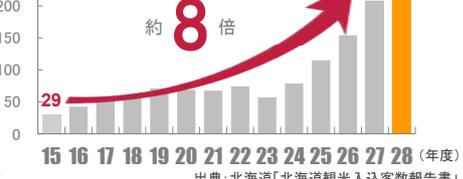
【北海道の強み】

- ・北海道は我が国の食料供給基地
- ・食の輸出、外国人観光客も急増

道産食品輸出額：7年で約3倍に



来道外国人旅行者数：13年で約8倍に



【北海道の課題】

- ・北海道の人口減少は全国よりも10年先に進展
- ・本州等とは距離感の異なる広域分散型社会



【これからの北海道の戦略】

「食」・「観光」が戦略的産業
 ~人口減少時代にあっても、
 ①北海道には世界と競争し得るポテンシャル
 ②アジアなど世界の市場が拡大傾向

農林水産業、観光等を担う「生産空間」を支え
 「世界の北海道」を目指す

重点的に取り組む事項

① 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

北海道型地域構造の保持・形成

② 食料供給基地としての持続的発展

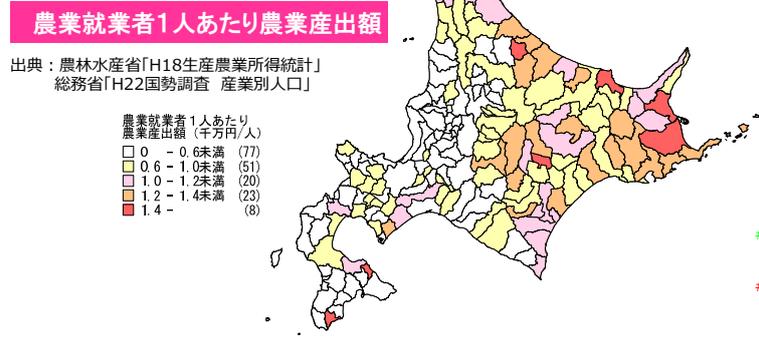
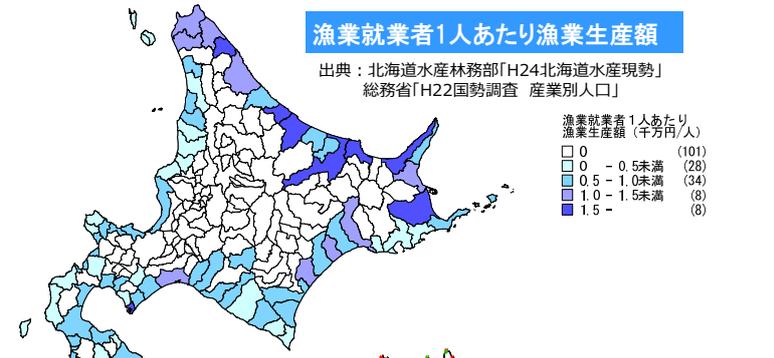
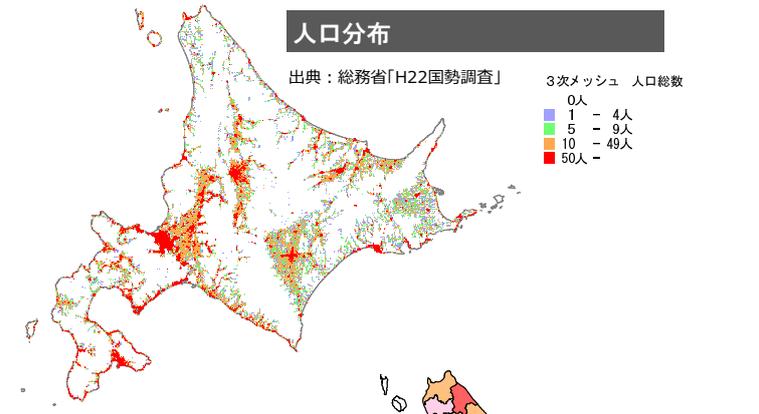
地域づくり人材の発掘・育成

③ 食と観光を担う「生産空間」を支える取組

強靱で持続可能な国土づくり

2. 北海道の強みと個性 ~強みを支える「生産空間」~

- 我が国の課題解決に対する北海道の貢献は、「食」・「観光」・「エネルギー」等、多岐にわたる。
- 特に、主として農業・漁業の生産は地方部で行われ、食料供給に大きく貢献。
- また、観光資源・地域資源は地方部にも広く分布し、観光サービスの生産空間としての側面もあり、雇用の創出も期待。



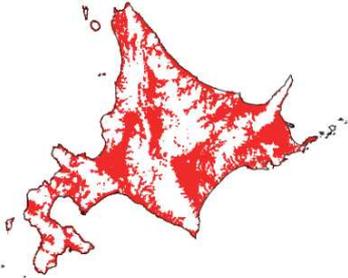
3. 北海道の強みと個性 ～生産空間の現状と課題～

- 今後、人口減少・高齢化の急速な進行により、北海道最大の強みである第1次産業や観光の「生産空間」の維持が困難になるおそれ。
- 地方部の集落の「住まい方」は散在・散居形態が主であり、都府県と大きく異なり、また、地方部は日本の国土の1/5を占める面積に広く分散しており、都市間距離が大きい。

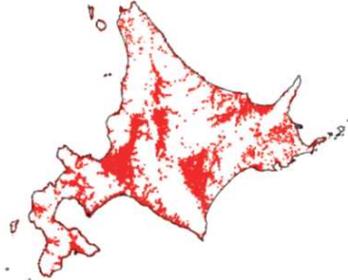
人口減少・高齢化の急速な進行

半数が無人工化の危機

2010年の人口分布※1



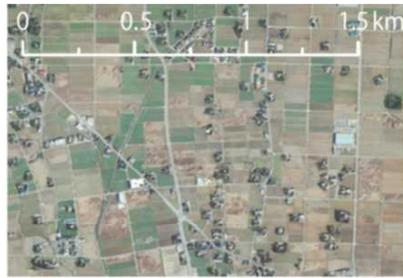
2050年の人口分布※1



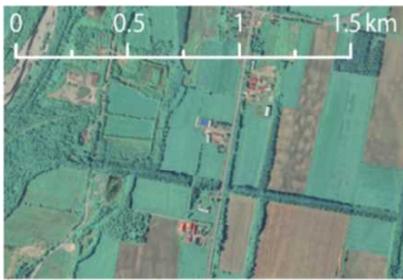
散居形態

集落の74%が散居型※2

他府県の例(富山県砺波市)※3



北海道の農村(上士幌町)※3



このような状況下では、生活施設まで遠く、公共交通の運営が困難など、人口定着には不利な環境



このままでは将来
北海道の「強み」を提供できなくなる可能性



今、まさに「生産空間」の維持・発展が急務

※1 出典：総務省「H22国勢調査」、国土交通省「国土数値情報（土地利用3次メッシュ）第2.3版」、国土数値情報（将来推計人口メッシュ（国政局推計））を基に作成。
 ※2 出典：竹内慎一（北海道立総合研究機構北方建築総合研究所）「北海道の集落の実態分析による地域防災力に関わる評価指標の検討」地域安全学会論文集(14), pp37-46, 2011-03
 ※3 写真：NTT空間情報（株）

4. 北海道型地域構造

- 北海道の「生産空間」は、主として農業・漁業に係わる場として、食料供給に大きく貢献し、観光その他多面的・公益的機能を提供。これからもその役割を果たし続けるとともに、それを支える人々が住み続けることが必要。
- このため、都市機能・生活機能が日常生活に支障のない水準で提供される「基礎圏域」を形成し、「生産空間」での暮らしを広域的に支えつつ、人々の活発な対流を促進。

北海道の「強み」を支える「生産空間※」として、10年後も、2050年もその役割を果たし続けるとともに、それを支える人々が住み続けることが必要

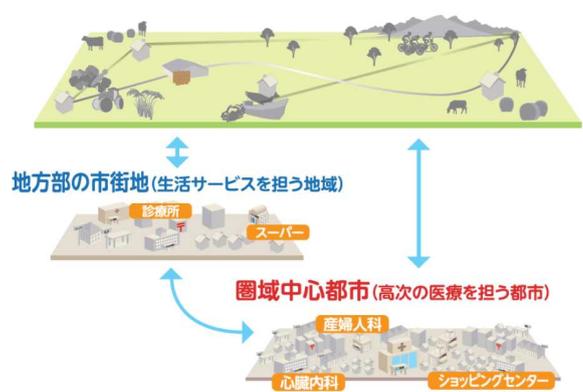


そのためには、「定住環境の確保」が必須
 頼り頼られる3つの層の「重層的な機能分担」と「ネットワークによる連携」（北海道版コンパクト+ネットワーク）で課題に対応



- 下記の観点についての取組を有機的・総合的に実施。
- 所得・雇用の確保
 - 地域の魅力向上
 - 生活機能・集落機能の確保
 - 安全・安心な社会基盤の形成

北海道型地域構造～頼り頼られる3つの層～ 生産空間（農林水産や観光等を担う地域）



○「生産空間の維持」に視点を置いた分析を行うため、「地方部の市町村」をさらに①生産空間と②市街地に分類。
 ○これに③圏域中心都市を加え
 ①地方部市町村の生産空間→②地方部市町村の市街地→③中心都市という流れで各層及び階層間に求める機能を考え、地域構造を分析。
 ○①生産空間+②市街地+③中心都市の3層を、北海道の地域構造を検討する際の「基礎圏域」と設定

※生産空間：主として農業・漁業に係わる生産の場(特に市街地ではない領域)を中心とし、観光等の多面的・公益的機能を含む

5. 生産空間を支える取組イメージ

○生産空間は、主として農業・漁業に係る生産の場として、我が国の食料供給に大きく貢献し、観光その他の多面的・公益的機能を提供
○今後もその役割を果たし続けるためには、都市機能・生活機能が日常生活に支障のない水準で提供される基礎圏域を形成し、**生産空間での暮らしを広域的に支えつつ、人々の活発な対流を促進するなど、生産空間に住み続けられる環境づくりが必要**

現状と課題	施策例	具体的な取組（例：社会資本を活用したもの）
所得・雇用の確保 ・人口減少・高齢化の進行 ・生産空間の無人化 ・農家戸数の減少 ・新技術・経営形態の革新などの必要性 ・水産資源の維持・確保の必要性 ・付加価値向上の必要性 ・生産性向上の必要性	ICTやロボット技術を活用したスマート農業 農地の大区画化、汎用化 衛生管理の取組推進、養殖・栽培漁業の普及 集落コミュニティの維持・連携	イノベーションによる農林水産業の振興 高度な衛生管理体制の構築   GPSを利用した農業の導入 屋根付き岸壁の整備
生活機能・集落機能の確保 ・医療・教育等の生活機能のある都市へのアクセス距離が課題 ・生産空間の集落機能が低下 ・高齢者や要介護者に対応した環境づくり	持続可能な人流・物流システムの構築 住民ニーズに対応した移動手段の維持・確保 移動販売、買物代行等の交通弱者の支援対策 交通ネットワーク・情報通信環境の整備	交通ネットワークの整備 持続可能な人流・物流システム構築 救急搬送支援    高規格幹線道路の延伸 「ひと・もの」協働輸送プロジェクトによる貨客混載の例（北海道運輸局） 道路管理ステーションを活用したドクターヘリのランデブーポイント
地域の魅力向上 ・市街地への集住は生産空間の多面的な機能を減じる懸念 ・生産空間での定住・交流が必要 ・子育て世代に対応した環境づくり	地域資源を活用した交流拡大 移住、二地域居住等の促進 地域住民と行政の連携・協働によるインフラ維持・管理	地域活動団体の取組 地域資源の活用    ビューポイントパーキング 砂防えん堤の整備により出現した「青い池」 稚内港北防波堤ドームでのスノーキャンドルイベント
安全・安心な社会基盤の形成 ・気候変動により自然災害が頻発、激甚化 ・生産空間の被災により食料供給基地の役割の消失の懸念 ・インフラの老朽化	水害・土砂災害、地震・津波への対応 行政、住民、民間事業者等の連携体制の構築 国土強靱化に資するインフラ老朽化対策の推進	生産空間を支える社会基盤整備 インフラメンテナンス国民会議の取組    河川堤防の完成化（平成22年） 治水対策の進捗により、高収益作物栽培のためのビニールハウスの立地が進展 建設関連産業の連携によるインフラメンテナンスの推進

6. 生産空間におけるモデル地域の取組みについて

○「生産空間」における定住環境の確保の観点から、産業構造や地理的側面といったバランスを考慮して**3つのモデル地域（名寄周辺、十勝南、釧路）を設定**。
○それぞれの圏域において、学識者や民間事業関係者、自治体・行政機関による「圏域検討会」を設置。地域の現状や課題・ニーズを共有し、必要な取り組み等について幅広く議論を実施。この度、**十勝南地域の施策パッケージを策定**。

名寄周辺	十勝南	釧路
産業構造：稲作その他 地理的特性：内陸（分散型）	産業構造：畑作・酪農（大規模経営） 地理的特性：内陸（集中型）	産業構造：酪農・水産業（港湾・漁港機能を有する） 地理的特性：沿岸（集中型）
（地域構造のイメージ） 	（地域構造のイメージ） 	（地域構造のイメージ） 
【このような圏域の特色】 ○ 稲作・畑作のほか、酪農や林業等、多彩な一次産業が見られる。 ○ 圏域内各層間で一定の依存が見られるほか、医療面での圏域とは別の圏域への購買依存があるなど、行動が多様	【このような圏域の特色】 ○ 主に畑作や酪農などで大規模経営がなされている。 ○ 圏域中心都市に都市機能・生活機能が集積しており医療面、購買面とも圏域中心都市への依存度が高い。	【このような圏域の特色】 ○ 「生産空間」（漁港）と市街地が隣接しており、圏域内に点在している。 ○ 圏域中心都市に都市機能・生活機能が集積しており医療面、購買面とも圏域中心都市への依存度が高い。